

教育委員会

教育公安委員会

【議案関係資料】

(補正予算関係)

2月3日提出

目 次

課室名	タイトル	頁
総務課	私立学校運営費補助金（光熱費価格高騰分）	3
幼保推進課	保育所等物価高騰対策事業	4
義務教育課	公立学校情報機器整備臨時対策基金積立金	5
高校教育課	A K I T A DXハイスクール・ラボラトリー事業	6
	（新）A I の活用による英語教育強化事業	8
生涯学習課	物価高騰の影響に伴う指定管理者への支援について	9
	公の施設の指定管理者の指定について	10

私立学校運営費補助金（光熱費価格高騰分）

教育庁総務課

1 目的

電力等の価格高騰の影響を受けている学校法人の負担軽減を図るため、光熱費の高騰分に対し助成する。

2 概要

- (1) 対象者 高等学校を設置する学校法人（5 法人）
- (2) 対象経費 光熱費（電気、ガス、灯油等）にかかる経費
- (3) 対象期間 令和 6 年 1 月から同年 1 2 月まで
- (4) 補助率 1 0 / 1 0

3 補正予算額

1 1, 1 4 2 千円（☒ 1 1, 1 4 2 千円） ☒：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
内訳 ・ 補助金 1 1, 1 4 2 千円

《参考》予算の積算方法

各学校法人における令和 6 年の光熱費（見込額）のうち、価格高騰前の令和 3 年と比較してかかり増しとなった経費について、消費者物価指数を基に電気、ガス、灯油等費目別に積算している。

保育所等物価高騰対策事業

幼保推進課

1 目的

食材料費の価格高騰の影響を受けている私立の幼稚園・保育所等の負担軽減を図るため、給食費（副食費）の高騰分に対し助成する。

2 概要

- (1) 補助先 市町村
- (2) 対象施設 幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設等（237施設、児童数12,000人）
- (3) 補助単価 児童1人当たり6,660円（年額）
- (4) 補助率 1/2（県10/10）

3 補正予算額

39,960千円（国39,960千円） 国：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
内訳 ・ 補助金 39,960千円

《参考》補助単価の算出方法

（副食費相当額[4,500円/月]×価格上昇率[19%]－公定価格改定の増額分[300円/月]）×12月＝6,660円

※副食費相当額は令和3年度基準

公立学校情報機器整備臨時対策基金積立金

義務教育課

1 目的

G I G Aスクール構想を推進し、公立小中学校等における情報通信技術を活用した教育の充実を図るため、県及び市町村が行う学校における情報通信機器の整備に係る臨時の事業に充てる資金を基金に積み立てる。

2 概要

令和7年度に県及び15市町村が整備する学習者用端末・入出力支援装置について、国庫補助金を基金に積み立てる。

また、基金の定期預金の預け替えによる運用益を基金に積み立てる。

3 予算額

1,427,809千円（国1,425,800千円 財2,009千円）

国：公立学校情報機器整備事業費補助金

内訳 ・ 積立金 1,427,809千円

（参考1）令和7年度までの基金増減について

（単位：千円）

	積立	取崩	年度末残高（予定）
令和5年度	509,084	0	509,084
令和6年度	1,427,935	14,850	1,922,169
令和7年度	11,534	1,867,788	65,915

※令和7年度の当初予算として利息分11,534千円のみを計上しているが、令和8年度の整備計画に合わせ令和7年度中に国庫補助金が交付される予定。

（参考2）国の事業スキーム

<1人1台端末・補助単価等>

・補助基準額：55千円／台

・予備機：15%以内

・補助率：3分の2

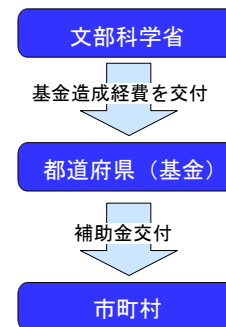
※児童生徒全員分の端末（予備機含む）が補助対象。

<入出力支援装置>

視覚や聴覚、身体等に障害がある児童生徒の障害に対応した入出力支援装置（予備機含む）の整備を支援。

・補助率：10分の10

（基金のイメージ）



AKITA DXハイスクール・ラボラトリー事業

高校教育課

1 目的

デジタルを活用した発展的な探究活動やものづくり教育を推進し、社会のDX化や成長産業を支えるデジタル人材育成の強化を図る。

2 概要

(1) AKITA STEAM・ラボ 27,000千円

理数科における高大連携や学校間連携を重視した探究活動の充実

- ・対象 継続：5校（大館鳳鳴、能代、秋田、由利、湯沢）
- ・内容 生物顕微鏡、液体クロマトグラフ等の実験装置及び研究環境の整備

(2) AKITA ものづくり・ラボ 111,000千円

デジタルを活用した新たな価値を創出するものづくり教育の充実

- ・対象 継続：7校（能代科学技術、金足農業、大曲農業、秋田工業、由利工業、大曲工業、男鹿海洋）
新規：6校（秋田北鷹、増田、鹿角、大館桂桜、男鹿工業、湯沢翔北）
- ・内容 スマートグラス、高速3Dプリンター等の整備、デジタル化に対応した実習機器の活用

(3) AKITA クリエイティブ・ラボ 15,000千円

中高一貫教育校におけるデジタルを活用したより発展的な探究活動の推進

- ・対象 継続：3校（大館国際情報学院、秋田南、横手清陵学院）
- ・内容 メタバース空間構築、音響設備等のデジタルを活用した学習空間の整備

(4) AKITA イノベティブ・ラボ 32,000千円

デジタル探究コースにおけるデジタルを活用した体験的・創造的な学びの推進

- ・対象 新規：3校（新屋、仁賀保、横手城南）
- ・内容 高性能PC、高照度プロジェクター等、デジタルを活用した協働学習空間の整備

(5) AKITA DXネットワーク 10,000千円

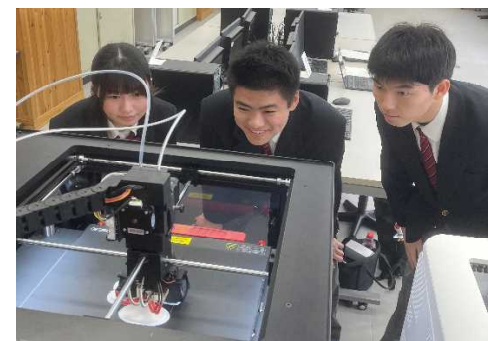
デジタルを活用した情報活用指導力の育成とラボラトリーを越えた学習成果の共有

- ・対象 新規：秋田県総合教育センター
- ・内容 デジタルを活用した域内横断的な学習空間及び県内全域にわたる配信拠点の整備

3 予算額

195,000千円 (国 195,000千円) 国：高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金
(高等学校DX加速化推進事業)

内訳	・ 報償費	2,670千円
	・ 旅費	2,433千円
	・ 需用費	8,891千円
	・ 役務費	85千円
	・ 委託料	31,201千円
	・ 使用料	7,591千円
	・ 備品購入費	142,129千円



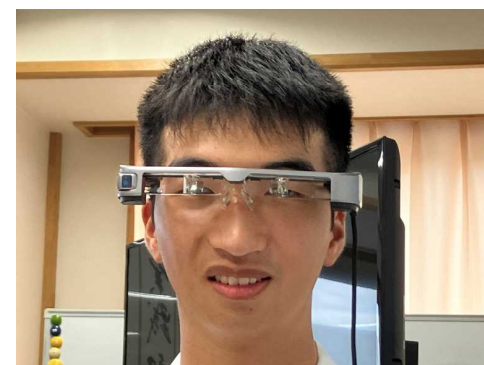
3Dプリンター活用の様子

◇STEAM教育

科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術・リベラルアーツ(Arts)、数学(Mathematics)の頭文字を組合わせた造語。各教科等での学習を、実社会での問題発見・問題解決に生かしていくための教科等横断的な学習をいう。

◇各校における研究内容の一例

- ・ 色素増感太陽電池の可能性 (大館鳳鳴)
- ・ 三相交流を応用した発電機 (能代)
- ・ 光による音の送信 (湯沢)
- ・ 3次元版ピックの定理の発展 (横手)
- ・ ハイドロキシアパタイトの合成 (秋田)
- ・ 野菜由来の界面活性剤の有用性 (横手)



スマートグラスを装着した生徒

高校教育課

A I を活用した効果的な指導法の研究及びその成果の普及を推進し、生徒の総合的な英語力の強化を図る。

(1) モデル校における英語の授業等でのAI活用の推進 14,630千円

- ・対象 9校（鹿角、大館国際情報学院、能代松陽、秋田北、秋田南、由利、大曲、角館、横手清陵学院）
- ・内容 AIを活用した会話練習等による言語活動の充実及び効果的な授業モデルの構築

(2) AI 英語活用リーダーによる実践及び普及 370 千円

- ・対象 モデル校英語教師（各校３名程度）、教育専門監、指導主事等
- ・内容 授業等でＡＩを活用した効果的な指導法の研究及び県内への普及

15,000千円 (諸15,000千円)
 諸：教育委員会受託事業収入

内訳	・ 報償費	2 0 0 千円
	・ 旅費	1 7 0 千円
	・ 委託料	1 4, 6 3 0 千円

Do you like camping?

話した文章
No, I don't. I don't like bugs.

Good Point
「虫が嫌い」という具体的な理由を挙げている点が良いです。

Feedback
キャンプが好きではない理由が明確に伝わります。もう少し情報を追加すると良いでしょう。

スピーキングスコア

B

ブラッシュアップ答案
No, I don't like camping because I don't like bugs. Also, I prefer staying in comfortable places rather than outdoors.

Advice
短い文章でも情報を増やす練習をしましょう。例えば、理由を2つ以上挙げるなどです。



AIを活用した学習のイメージ

物価高騰の影響に伴う指定管理者への支援について

生涯学習課

1 目的

所管する公の施設の指定管理者に対し、物価高騰によりかかり増しとなった光熱費について、収入に占める指定管理料の割合（公費負担割合）に応じて助成する。

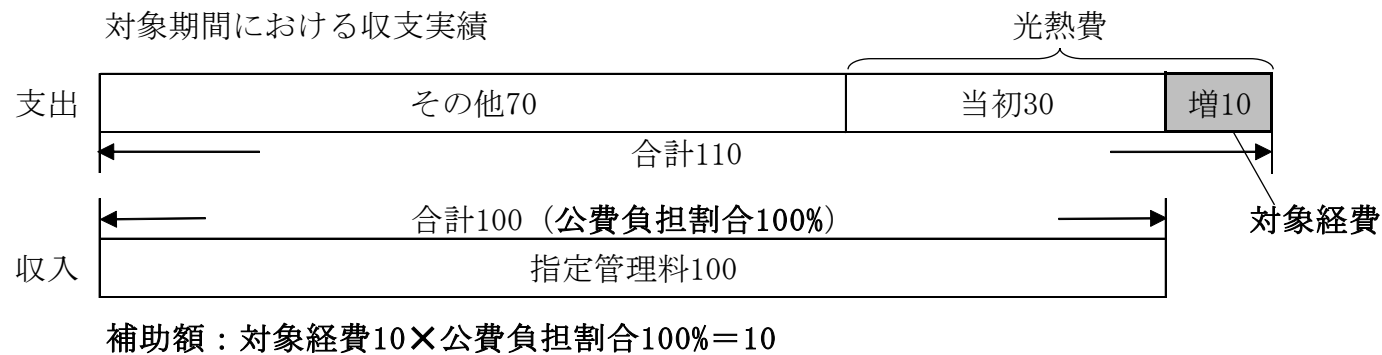
2 概要

- (1) 対象者 秋田県立美術館指定管理者 公益財団法人平野政吉美術財団
- (2) 対象経費 光熱費の収支計画からの増加分
- (3) 対象期間 令和6年3月から令和7年2月まで
- (4) 補助額 公費負担割合に基づき算出
※秋田県立美術館は指定管理料制施設であり、公費負担割合は100%となる。

3 予算額

7,485千円（ $\ominus$ 7,485千円） ※物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当予定

〈指定管理料制施設への支援イメージ〉



公の施設の指定管理者の指定について

生涯学習課

1 指定管理施設
秋田県立美術館

2 指定管理期間
令和7年4月1日から令和9年3月31日まで（2年間）

3 指名団体（指定管理者指定申請書提出者）
公益財団法人平野政吉美術財団

4 指定管理者の候補者の選定状況

（1）選定委員会の開催

令和7年1月15日（水）

（2）選定委員

区 分	氏 名	職 名 等	専門分野等
委員長	小 林 栄 幸	秋田県教育庁教育次長	
委 員	長 瀬 達 也	国立大学法人秋田大学大学院教育学研究科教授	教育学
委 員	滝 沢 貴 志	滝沢貴志税理士事務所税理士	企業財務
委 員	吉 川 ひかる	秋田県社会教育委員連絡協議会理事	社会教育関係
委 員	佐々木 美 香	秋田市地域おこし協力隊	公募委員
委 員	古 屋 桃 香	秋田県教育庁生涯学習課長	

（3）選定方法及び結果

別紙「秋田県立美術館に係る指定管理者の候補者選定委員会における選定の方法及び結果について」のとおり、公益財団法人平野政吉美術財団を選定した。

5 今後の予定

指定管理者の指定の議決が得られた後は、指定管理に係る指定の公告及び協定書の締結を行う。

秋田県立美術館に係る指定管理者の候補者選定委員会における選定の方法及び結果について

● 選定の方法

- 1 申請者から提出された事業計画書等により、選定基準に沿って設定した審査項目ごとに各委員が評価（評点付け）を行った。
（評 点）
5 点：特に優れている 4 点：優れている 3 点：やや優れている 2 点：やや劣っている 1 点：劣っている
- 2 全委員の評点を合計し、選定基準のウエイトをもとに評点の合計を 100 点換算した（満点を 100 点として再計算）。
なお、審査項目の評点中、「やや優れている」と評価した場合の合計点である 60 点を、指定管理者の候補者として選定するための目安とする基準点とした。
（申請者の評点については、下記の「評点表」を参照）
- 3 委員間で総合的観点から議論・検討し、指定管理者の候補者を選定した。
（議論・検討の概要については、下記の「総合評価（選定結果）」を参照）

○ 評点表

申請者	1 県民の平等利用の確保 (適合しなければ失格)	2 施設の設置目的の 効果的な達成 (配点：25点)	3 効率的な管理 の実現 (配点：20点)	4 適正かつ確実な 管理を行う能力 (配点：30点)	5 その他必要事項 (配点：15点)	6 県の施策推進に 係る項目 (配点：10点)	合 計 (満点：100点)
公益財団法人 平野政吉美術財団	適合	21.3	16.3	24.2	12.2	8.5	82.5

■ 総合評価（選定結果）

- 申請者は、平成 18 年度から指定管理業務を受託し、これまで管理運営業務を着実に実施してきた実績を有しており、公益財団法人としても適正な運営が行われている。
- 申請者から提出された事業計画は、藤田嗣治の作品を中心とした展示のほか、企画展示や特別展の開催などにより、秋田県立美術館の特徴を活かした集客の工夫が図られる計画となっている。
- 美術館教室、ワークショップの開催のほか、小中学校をはじめとした学習活動の受け入れなど、多様な教育普及事業を行うこととしており、展示以外の事業にも積極的に取り組むこととされている。
- 財団の財務指標から、申請者の経営状況は健全かつ安全と評価できる。
- ◎ 換算後の全委員の評点が基準点を上回り、指定管理者の候補者としての適格性が認められたことから、公益財団法人平野政吉美術財団を指定管理者の候補者として選定することに決定した。